

児童手当制度の概要

1. 平成19年制度改正案の概要(案)

手当月額	0歳以上3歳未満の児童に対する月額を一律1万円とする。
実施時期	平成19年4月
追加所要額	約1,370億円(満年度ベース:約1,650億円)

2. 制度の概要

制度の目的	<ul style="list-style-type: none"> ○児童養育家庭の生活の安定に寄与する ○次代の社会を担う児童の健全育成及び資質の向上に資する 																				
支給対象 手当月額	<ul style="list-style-type: none"> ○小学校修了までの児童(12歳に到達後の最初の年度末まで) ○0～3歳未満 一律10,000円 3歳～小学校修了まで <ul style="list-style-type: none"> 第1子、第2子 : 5,000円 第3子以降 : 10,000円 																				
支払期月	○支払期月:毎年2月、6月及び10月(各前月までの分を支払)																				
所得制限 4人世帯(夫婦 と児童2人)の 年収ベース	<ul style="list-style-type: none"> ○所得限度額 被用者 収入ベース:860万円未満 非被用者 収入ベース:780万円未満 																				
費用負担	<p>【0歳～3歳未満 児童手当等】</p> <p>[被用者]</p> <table border="1"> <tr> <td>事業主</td> <td>7/10</td> <td>国</td> <td>1/10</td> <td>地方</td> <td>2/10</td> </tr> </table> <p>[特例給付]</p> <table border="1"> <tr> <td>事業主</td> <td>10/10</td> </tr> </table> <p>[非被用者]</p> <table border="1"> <tr> <td>国</td> <td>1/3</td> <td>地方</td> <td>2/3</td> </tr> </table> <p>[公務員]</p> <table border="1"> <tr> <td>所属庁</td> <td>10/10</td> </tr> </table> <p>【3歳～小学校修了前 小学校修了前特例給付】</p> <p>[被用者・非被用者]</p> <table border="1"> <tr> <td>国</td> <td>1/3</td> <td>地方</td> <td>2/3</td> </tr> </table> <p>[公務員]</p> <table border="1"> <tr> <td>所属庁</td> <td>10/10</td> </tr> </table>	事業主	7/10	国	1/10	地方	2/10	事業主	10/10	国	1/3	地方	2/3	所属庁	10/10	国	1/3	地方	2/3	所属庁	10/10
事業主	7/10	国	1/10	地方	2/10																
事業主	10/10																				
国	1/3	地方	2/3																		
所属庁	10/10																				
国	1/3	地方	2/3																		
所属庁	10/10																				
事業主拠出金	<ul style="list-style-type: none"> ○厚生年金保険等被用者年金制度の適用事業所の事業主が負担 ○拠出金の額は、厚生年金保険等被用者年金の標準報酬月額及び標準賞与額を賦課標準として、それぞれに拠出金率を乗じて得た額 <p>拠出金率 平成18年度 平成19年度(予定)</p> <p>0.9/1,000 → 1.3/1,000</p>																				
財源内訳	<p>19' 予算案 (18' 予算額)</p> <p>給付総額 10,270億円 (8,580億円)</p> <p>国庫 2,750億円 (2,420億円)</p> <p>地方 5,760億円 (5,050億円)</p> <p>事業主拠出金 1,760億円 (1,110億円)</p> <p>※19年度予算案における制度改正の影響額は、4月施行のため10か月ベース</p> <p>※公務員を含む。</p>																				